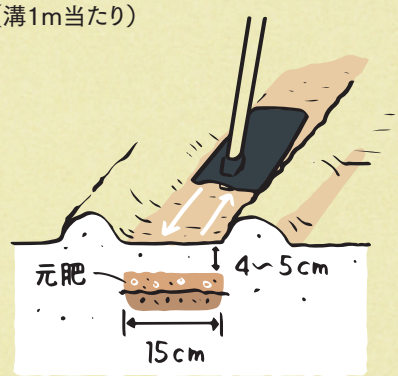
チャレンジ！家庭菜園

シュンギク

乾燥に弱いので、保水性のある畑を選んで栽培します。堆肥を元肥に十分に施し、根はりを良くします。品種は中葉種が作りやすく、摘み取り栽培が便利です。

01 元肥入れ

種の発芽ぞろいが悪いので、元肥を入れた後、溝のそこを鍬で前後に動かして平らにする。
堆肥600g　油粕30g　化成肥料25g
（溝1m当たり）

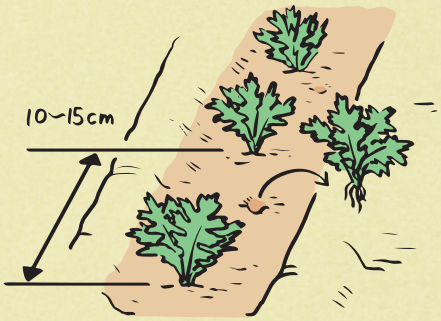


02 種まき

2～3mm間隔で種をまき、5mmほど覆土する。
覆土したら、鍬の面の部分で押し付け、潅水を十分に行う。

03 間引き

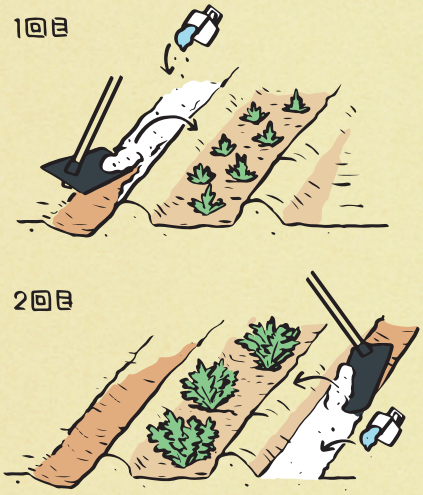
1回目は、本葉2枚で株間2～3cmにする。
2回目は、本葉が3～4枚になってから株間10～15cmになるようにする。



化成肥料…化成肥料8-8-8と同比率のものが好まれます

04 追肥（ついひ）、土寄せ

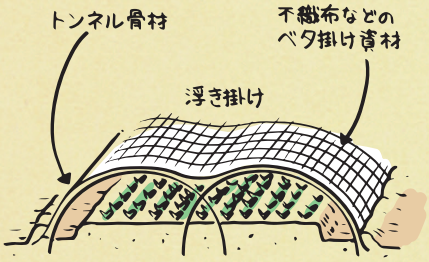
間引き後に追肥を行う。溝の片側に施肥し、軽く土寄せを行う。
（溝1m当たり化成肥料　35g）



2回目に施すときには、最初とは反対のほうに施す。収穫継続中は月2回程度追肥する。

05 保温

冬に入ってから不織布などのベタ掛け資材を使って防寒保温を行う。



06 収穫

本葉9～10枚、草丈20～25cmになった頃、下葉4～5枚を残して摘み取る。以後は側枝が伸びた順に摘み取っていく。

営農よろず相談のご案内

●「営農よろず相談」では、[農作物の栽培方法に関すること][病害虫の防除に関すること]などを中心にご相談を受け付けております。何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひご利用ください。

☎097-544-6462

※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。

●受付時間
月・水・金曜日（祝日は除く）
8:30～17:00（受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります）

●設置場所／営農部

	9月	10月	11月	12月	1月
種まき	●――				
収穫			――	――	――

栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。
種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。

QRコードでバックナンバーが確認できます。
（スマートフォン対応）